

有接点シーケンス制御の実践技術

概要

シーケンス制御設計の現場力の強化及び技能の継承ができる能力をめざして、技能の高度化及び故障対応・予防に向けた有接点シーケンス制御製作の実務能力を習得します。

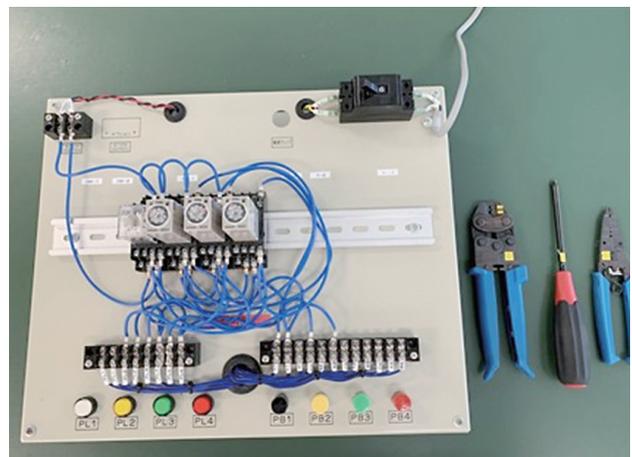
対象者

有接点リレーシーケンスの知識を習得し、関連業務に従事しようとする方

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受講料(税込)
4D001	5/21(水)、5/22(木)	9:00~16:00	2日	12H	10人	8,500円
4D002	10/22(水)、10/23(木)					
4D003	1/7(水)、1/8(木)					

内 容

- コース概要及び留意事項
 - コースの目的
 - 専門的能力の現状確認
 - 安全上の留意事項
- 各種制御機器の種類と選定方法
 - スイッチ、センサ等
 - その他制御機器
(表示灯、ブレーカ、ヒューズなど)
 - 制御線・動力線の選定
- 主回路と制御回路
 - 安全対策
 - 展開接続図の読み方
 - 機器の配置と接続方法
 - 各種制御回路
- 有接点シーケンス製作実習
 - 実習課題についての仕様説明
 - 展開接続図
 - 制御機器の選定
 - 配線作業
- まとめ
 - 実習の全体的な講評および確認・評価



制御盤用教材

使用機器

リレー、タイマ、押しボタンスイッチ、表示灯、テスタ、工具、その他

使用テキスト

自作テキスト

受講者持参品

筆記用具、軽作業ができる服装

講 師

北陸職業能力開発大学校 講師

ステップアップ

P.28 P富山 能開大
シーケンス制御による
電動機制御技術

P.29 P富山 能開大
PLC制御の回路技術

P.30 P富山 能開大
PLC制御の応用技術

P.39 P富山 能開大
電気系保全実践技術

受講者の声

実際に配線を行ったり、タイムチャートを使うことで、理解を深められた。

事業主の声

顧客のニーズに迅速な対応ができるようになった。